



2025年度 決算概況

ブロードメディア株式会社

2026年5月12日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

◆ 2025年度決算概要

◆ 2026年度業績予想

◆ 中期的な取り組み

◆ 株主還元

◆ トピックス

【ご参考】

事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み

2025年度の連結経営成績(対前期)



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	通期 業績予想 (25年5月1日発表)	達成率
売上高	15,533	15,794	↑ 260	+2%	16,400	96%
営業利益	707	1,063	↑ 356	+50%	1,100	97%
経常利益	719	1,096	↑ 377	+52%	1,100	100%
純利益	335	782	↑ 446	+133%	850	92%

- ✓ 前期に比べて増収増益
- ✓ 純利益は、div/divxのグループ通算制度加入に伴う節税効果や、特別損失の計上額が前期に比べ少なかったこと等から、大幅増益

(※)特別損失の内容(前期:約315百万円 当期:約119百万円)

前期:メディアコンテンツ事業譲渡に係る損失 約113百万円、スタジオ・プロダクションに係る減損損失 約202百万円

当期:投資有価証券評価損 約80百万円、釣りビジョンのスタジオ及びルネサンス豊田校移転準備に係る撤去費用 約39百万円

2025年度の連結経営成績(対業績予想)

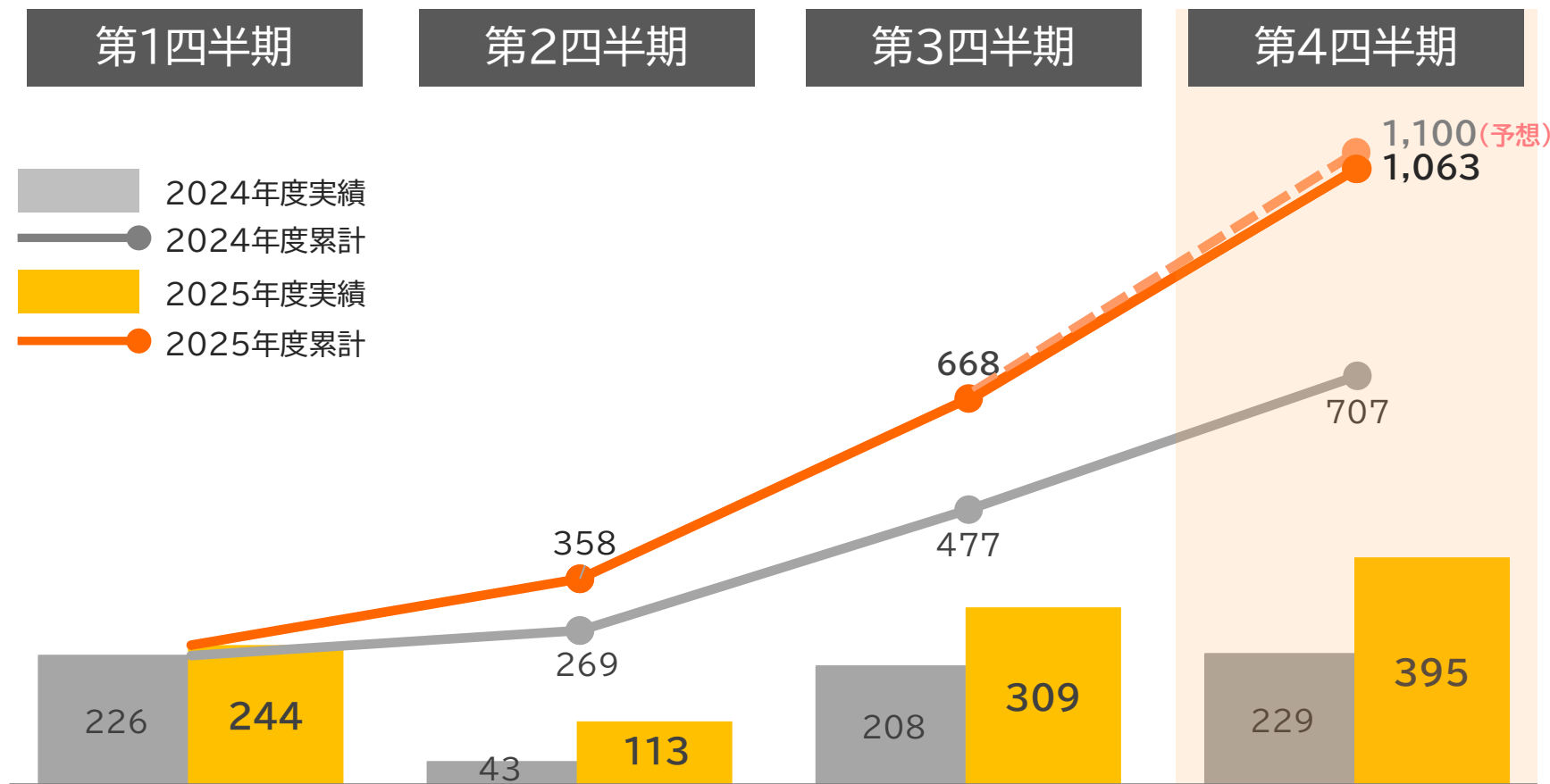


(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	通期 業績予想 (25年5月1日発表)	達成率
売上高	15,533	15,794	260	+2%	16,400	96%
営業利益	707	1,063	356	+50%	1,100	97%
経常利益	719	1,096	377	+52%	1,100	100%
純利益	335	782	446	+133%	850	92%

- ✓ 期初の業績予想に対して、売上高・営業利益・経常利益はほぼ想定通りに着地
- ✓ 純利益は、特別損失が発生したことにより、業績予想を下回って着地

四半期営業利益の推移(前年同期比)



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

✓ 各四半期とも前年同期と比べ増益で推移

報告セグメントの表示方法の変更

・内部取引の取り扱いについて

◆ 前期までの表示方法

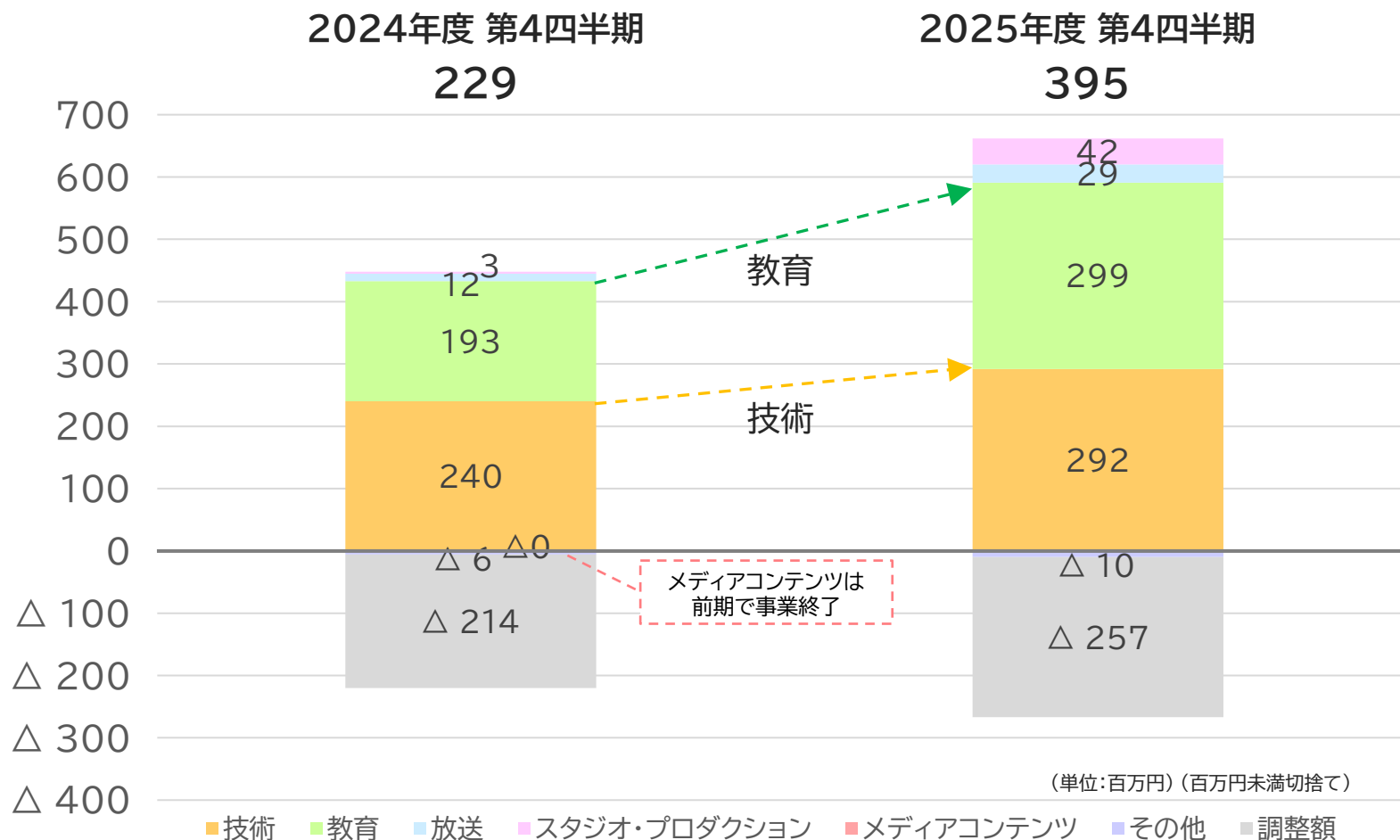
- ・各セグメントの売上高・売上原価・販管費からグループ内取引の金額を控除して表示



◆ 今期からの表示方法

- ・各セグメントの業績をより適切に把握するため、総額で表示
- ・グループ内取引の額は、まとめて売上高の「調整額」として表示
- ・営業利益の「調整額」は、これまで「全社費用」に区分していた金額を含めて表示
- ・本資料における前期の数値は、変更後の金額で表示

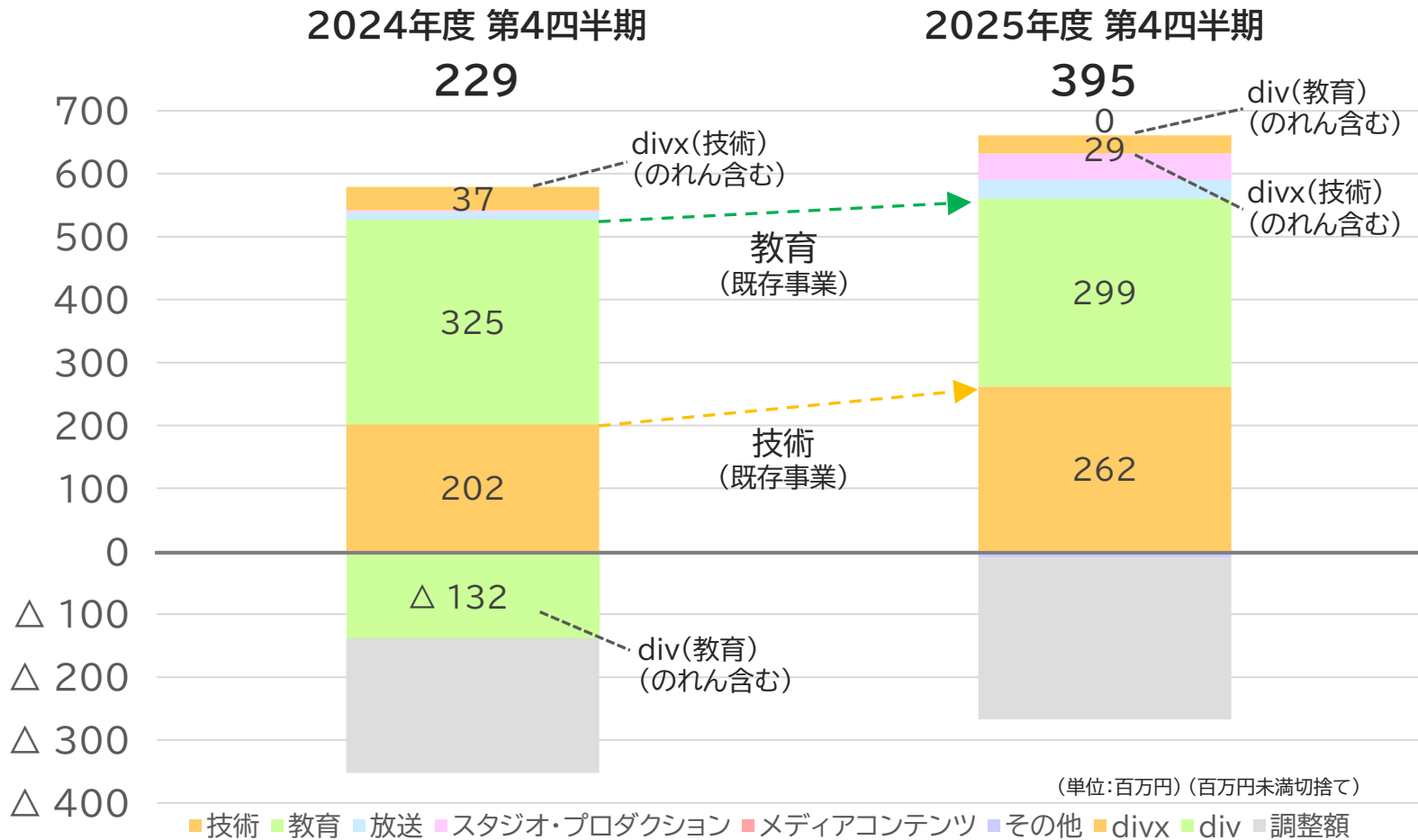
第4四半期会計期間(1月~3月)の営業利益(前年同期比)



- ✓ その他セグメント以外のすべてのセグメントは増益
- ✓ 事業譲渡したメディアコンテンツは前期で事業が終了

第4四半期会計期間(1月~3月)の営業利益(前年同期比)

~ div/divxをセグメントから切り出した営業利益の構成 ~



- ✓ 技術の既存事業は好調、教育の既存事業は減益
- ✓ divxは減益ながらも黒字を確保、divは黒字に転換した(のれんを含む)

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
教 育 (うちdiv影響/のれん含む)	5,384 (640)	5,507 (720)	↑ 122 (79)	841 (△ 459)	966 (△ 173)	↑ 125 (285)
スタジオ・ プロダクション	1,564	1,613	↑ 49	△ 17	28	↑ 45
放 送	2,331	2,243	↓ △ 87	106	114	↑ 7
技 術 (うちdivx影響/のれん含む)	5,852 (804)	6,578 (761)	↑ 725 (△ 43)	654 (△ 30)	906 (78)	↑ 251 (109)
そ の 他	397	245	↓ △ 151	1	△ 52	↓ △ 54
調 整 額 (うち全社費用)	△ 355	△ 394	↓ △ 39	△ 815 (△ 813)	△ 899 (△ 898)	↓ △ 84 (△ 84)
メ デ ィ ア コ ン テ ン ツ	359	—	↓ △ 359	△ 65	—	↑ 65
合 計	15,533	15,794	↑ 260	707	1,063	↑ 356

※1 「メディアコンテンツ」で行っていた事業は2024年度第3四半期に事業譲渡を行ったため、2025年度の実績はありません。

※2 2025年度第1四半期より、セグメント間の内部取引を「調整額」に区分して表示しております。

「調整額」の営業利益には全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)を含んでおります。
2024年度の数値は、変更後の区分に組み替えて表示しております。

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
教育 (うちdiv影響/のれん含む)	5,384 (640)	5,507 (720)	↑ 122 (79)	841 (△ 459)	966 (△ 173)	↑ 125 (285)
			+2% 既存事業のみ +1%			+15% 既存事業のみ △12%

【セグメント全体では増収増益】

- ✓ 通信制高校事業は太子校の苦戦等により減収減益、また、労務費や広告宣伝費の増加も減益に影響
- ✓ 引き続き、成長のための新設校や定員増等の課題に対応
- ✓ ルネサンス豊田校は、利便性が高く規模の大きい新校舎への移転準備中
- ✓ 日本語教育は「日本語教師養成講座」の受講生が増加し、増収増益

- ◆通信制高校(ルネサンス高校グループ)
- ◆日本語教育(ルネサンス日本語学院)
- ◆AI・プログラミング教育

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
教育 (うちdiv影響/のれん含む)	5,384 (640)	5,507 (720)	122 (79)	841 (△ 459)	966 (△ 173)	125 (285)
			+2% 既存事業のみ +1%			+15% 既存事業のみ △12%

子会社化したdivの影響

- ✓ 個人向けAI教育(テックキャンプAIカレッジ)や法人向けAI研修が好調に推移し、通期で増収となった
- ✓ オフィス縮小等の固定費削減により、損失は285百万円縮小
- ✓ グループ内の各事業のAI研修等にも貢献
- ✓ 第4四半期(1月～3月)は、子会社化して連結後初めて黒字を計上。来期の通期黒字化と、より大きい成長をめざす

- ◆通信制高校(ルネサンス高校グループ)
- ◆日本語教育(ルネサンス日本語学院)
- ◆AI・プログラミング教育

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
スタジオ・プロダクション	1,564	1,613	▲ 49	△ 17	28	▲ 45
			+3%			黒字転換

【セグメント全体では増収増益、黒字転換】

- ✓ 第4四半期(1月～3月)に大幅に伸びたため、通期で増収
- ✓ 前期の減損処理によるコスト減の効果や、下期に固定費を圧縮したことで、利益を計上、黒字に転換
- ✓ 中期的には、業務改善やAI活用等による高付加価値化をめざす
- ✓ 戦略的選択肢の検討を継続

◆制作事業

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
放送	2,331	2,243	△ 87	106	114	7
			△4%			+7%

【セグメント全体では減収増益】

- ✓ 視聴料収入の減収傾向は続く
- ✓ 広告収入や「釣りビジョン倶楽部(VOD)」は増収
- ✓ 番組制作に係る原価や販管費が抑制されたこと等により、営業利益は増加
- ✓ 戦略的選択肢の検討の結果、3月31日付で釣りビジョン社株式を譲渡、2026年3月期(当期)をもって「放送」セグメントは終了

◆釣り専門チャンネル「釣りビジョン」 ◆釣りビジョン倶楽部(VOD)

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
技術 (うちdivx影響/のれん含む)	5,852 (804)	6,578 (761)	725 (△ 43)	654 (△ 30)	906 (78)	252 (109)
			+12% 既存事業のみ +15%			+38% 既存事業のみ +21%

【セグメント全体では増収増益】

- ✓ 主力のアカマイ(CDN/サイバーセキュリティ)サービスは、増収増益
- ✓ 子会社のシステムデザイン開発は、増収の一方、販管費が増加し減益
- ✓ グループ内の各事業のDX、セキュリティ対策等にも貢献

- ◆アカマイ(CDN/サイバーセキュリティ)サービス ◆クラウドソリューション
- ◆DX・システム開発 ◆ホスピタリティ・ネットワーク ◆デジタルシネマサービス ◆その他

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
技術 (うちdivx影響/のれん含む)	5,852 (804)	6,578 (761)	725 (△43)	654 (△30)	906 (78)	252 (109)
			+12% 既存事業のみ +15%			+38% 既存事業のみ +21%

子会社化したdivxの影響

- ✓ 減収となったものの、エンジニアを含めた人員の適正化や固定費等のコスト削減により損益は大幅改善して黒字転換
- ✓ AIの活用により開発の効率化を推進

◆アカマイ(CDN/サイバーセキュリティ)サービス ◆クラウドソリューション
 ◆DX・システム開発 ◆ホスピタリティ・ネットワーク ◆デジタルシネマサービス ◆その他

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
その他	397	245	△ 151	1	△ 52	△ 54
			△38%			損失計上

【セグメント全体では減収・損失計上】

- ✓ ゲームパブリッシング事業は、大型開発案件の受託がなかったことにより大幅な減収、損失を計上
- ✓ eスポーツ推進事業は、売上高は前期比で同水準だったものの、コストの増加により損失が拡大
- ✓ 戦略的選択肢の検討を開始

◆ゲームパブリッシング事業

◆eスポーツ推進事業(イベント運営・賞金・配信収入・スポンサー収入等)

事業セグメント別の連結経営成績～対前期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減額	2024年度	2025年度	増減額
調整額 (うち全社費用)	△ 355	△ 394	△ 39	△ 815 (△ 813)	△ 899 (△ 898)	△ 84 (△ 84)

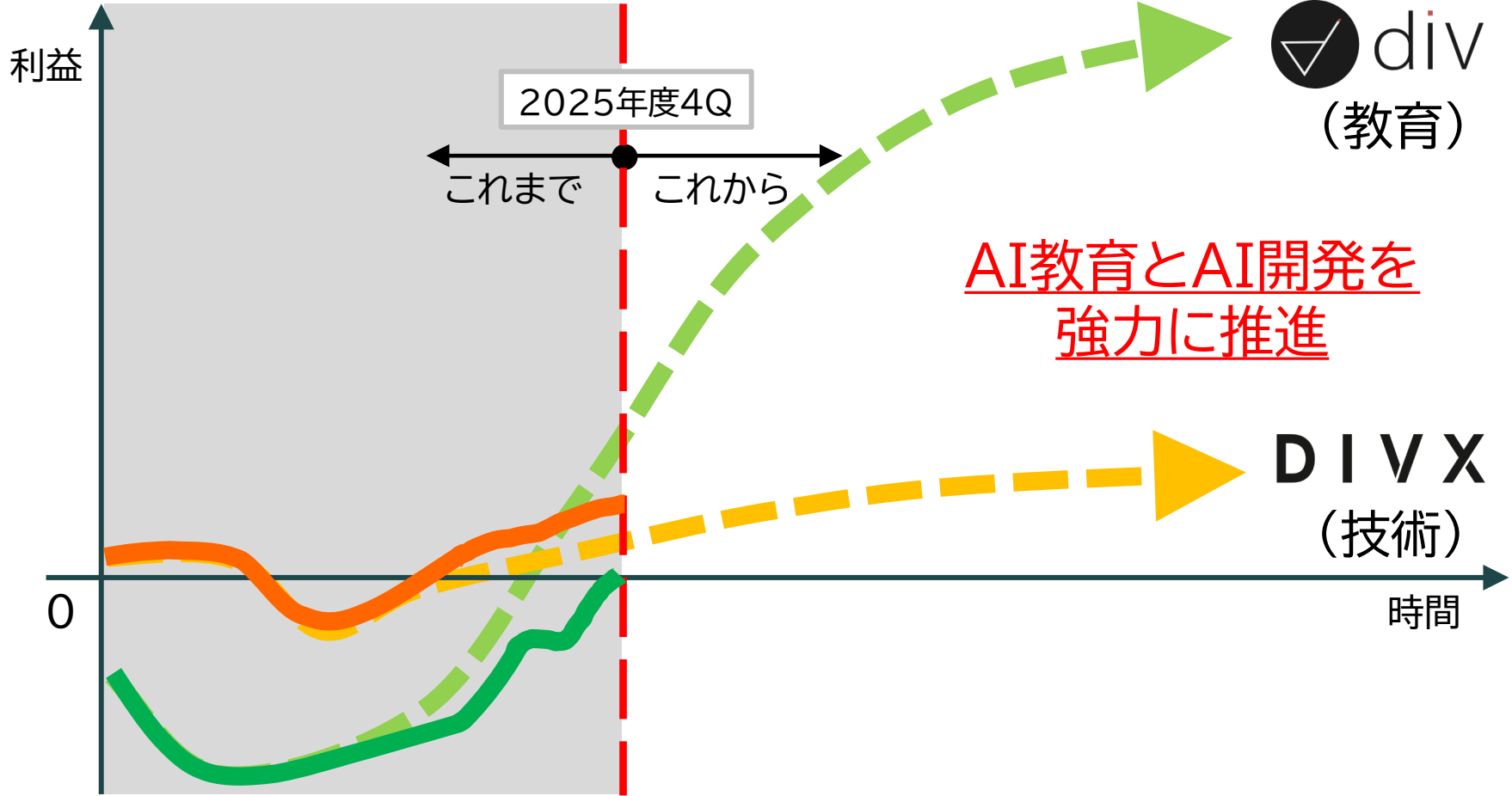
全社費用10%増

- ✓ 売上高の「調整額」は、グループ内取引の金額
- ✓ 営業利益の「調整額」は、これまで「全社費用」に区分していた金額を含めて表示
- ✓ 全社費用は、グループの成長に伴う管理部門の強化や新卒採用等による人件費の増加、システム改修等により増加

◆グループ本社(ブロードメディア)管理部門の運営

◆グループ全体の支援(生産性向上・効率化・ガバナンス強化等)

div・divxの損益の状況推移



- ✓ 損益の状況は子会社化時点の想定に対し、divxは順調、divは下回っているが今期4Qで黒字転換
- ✓ 前期と比べ、2社合計で395百万円改善

連結財政状態



資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2024年度	2025年度	増減額 (うち 釣りビジョン の影響)	増減率
総 資 産	11,300	9,760	△1,539 (△1,760)	△14%
負 債	5,519	4,698	△820 (△278)	△15%
純 資 産	5,780	5,062	△718 (△1,481)	△12%
自 己 資 本	4,631	5,062	431 (△331)	+9%
非支配株主持分	1,149	—	△1,149 (△1,149)	—
自己資本比率	41%	52%	—	—

- ✓ 前受金の減少、純利益の計上による利益剰余金の増加、釣りビジョン社株式の譲渡等により、結果として総資産・負債・純資産は大きく圧縮された

これらの結果、自己資本比率は

前期末と比べ11ポイント上昇し、大幅改善となった

連結財政状態



キャッシュフローの状況

	2024年度	2025年度
営業キャッシュフロー	710	688
投資キャッシュフロー	△ 30	14
財務キャッシュフロー	△ 882	△ 1,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	12
現金及び現金同等物の増減	△ 205	△ 776
現金及び現金同等物の期末残高	5,621	4,844

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

営業キャッシュフロー

前受金の減少の一方、税引前利益1,004百万円の計上等によりプラス688百万円

投資キャッシュフロー

通信制高校事業等の資産の取得(PC入れ替え等)の一方、釣りビジョン社株式の譲渡による収入等によりプラス14百万円

財務キャッシュフロー

当社および子会社による配当金の支払いや借入金の返済等によりマイナス1,491百万円

- ◆ 2025年度決算概要
- ◆ **2026年度業績予想**
- ◆ 中期的な取り組み
- ◆ 株主還元
- ◆ トピックス

【ご参考】


事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み

通期業績予想



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

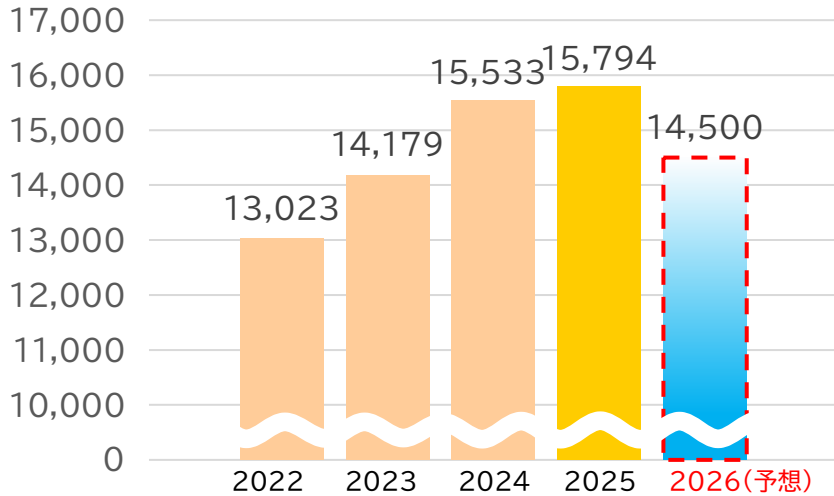
	2025年度 実績	2026年度 通期業績予想	増減額	増減率
売上高	15,794	14,500	 Δ1,294	Δ8%
営業利益	1,063	1,100	 37	+3%
経常利益	1,096	1,100	 4	+0%
純利益	782	890	 108	+14%

- ✓ 売上高は、すべてのセグメントで増収を見込む一方、「放送」セグメントの終了による売上高(約22億円)の減少が影響し、減収を見込む
- ✓ 利益面では、「教育」の既存事業は減益を見込むものの、「技術」の既存事業やdivxの成長に加え、div、「その他」の通期黒字化等により、「放送」セグメントの終了による減益(約1.1億円)の影響を補うことを見込む

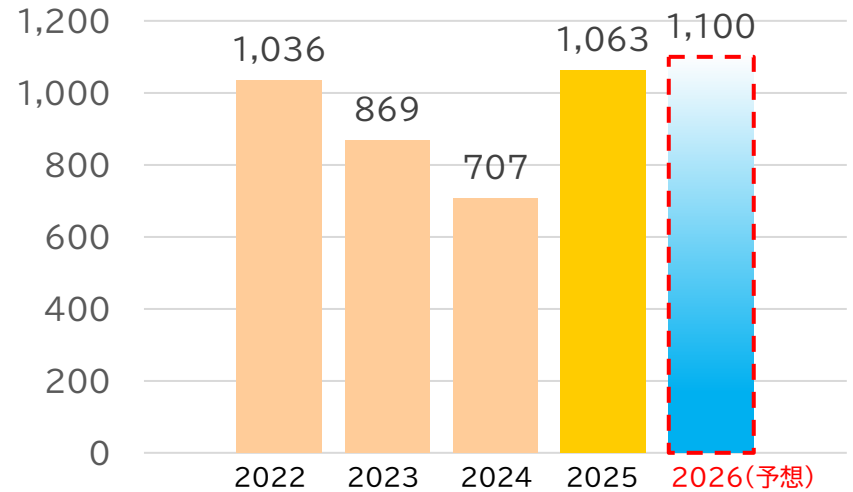
通期の業績推移と予想

(単位:百万円)

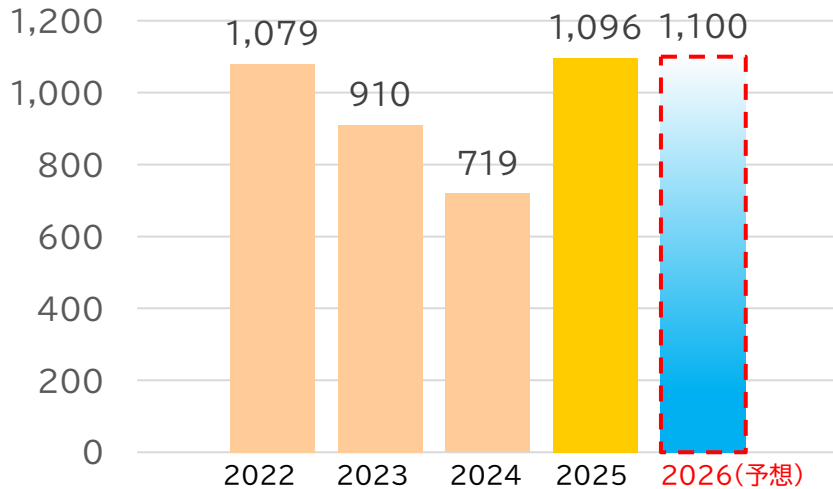
売上高



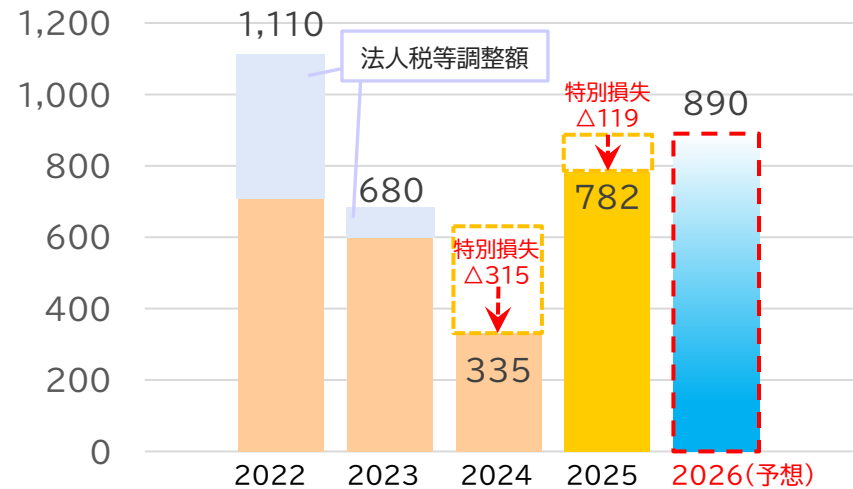
営業利益



経常利益



純利益



「放送」セグメント終了による影響はあるが、各事業の成長により増益をめざす

- ◆ 2025年度決算概要
- ◆ 2026年度業績予想
- ◆ **中期的な取り組み**
- ◆ 株主還元
- ◆ トピックス

【ご参考】

事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み

戦略的選択肢の進捗(1/3)

事業ポートフォリオの見直しについて

① (株)div/(株)divxの子会社化⇒「教育×技術」の強化

⇒2024年1月1日付の子会社化により、「教育×技術」事業の更なる開発・育成に取り組んでいる。「AI(人材)教育」、「AI(駆動)開発」を推進中。



② 「メディアコンテンツ」セグメント⇒ 前期末対応完了

⇒「メディアコンテンツ」セグメントで行っていた
ビデオ・コミックサービス事業を2024年11月1日付で事業譲渡
エンタメ情報サービス事業を2024年12月1日付で事業譲渡

戦略的選択肢の進捗(2/3)

当期における事業ポートフォリオの見直しについて

③ 「放送」セグメント ⇒ **当期対応完了**

⇒「放送」セグメントを担っていた(株)釣りビジョンの
当社保有株式のすべてを(株)サイバーエージェントへ
2026年3月31日付で譲渡

④ 持分法適用関連会社 ガラポン(株) ⇒ **当期対応完了**

⇒2012年6月より持分法適用関連会社であった同社について
同社の自己株式取得に応募し、2026年3月31日付で譲渡

戦略的選択肢の進捗(3/3)

当期における事業ポートフォリオの見直しについて

⑤ 「スタジオ・プロダクション」セグメント ⇒ **検討継続**

⇒「スタジオ・プロダクション」セグメントの制作事業について、損益管理の明確化等、独立的に運営していくことを目的に2026年4月1日付で、ブロードメディア・スタジオ(株)として新設分割を実施

⑥ 「その他」セグメント ⇒ **検討開始**

⇒引き続き、事業ポートフォリオの見直しを進め、当該セグメントも検討対象とすることとした

「コンテンツ×技術」企業から「教育×技術×AI」企業へと進化することで、業績と資本効率の改善をめざす

“持続可能で、かつ倫理的な事業で成長する”
ビジネス

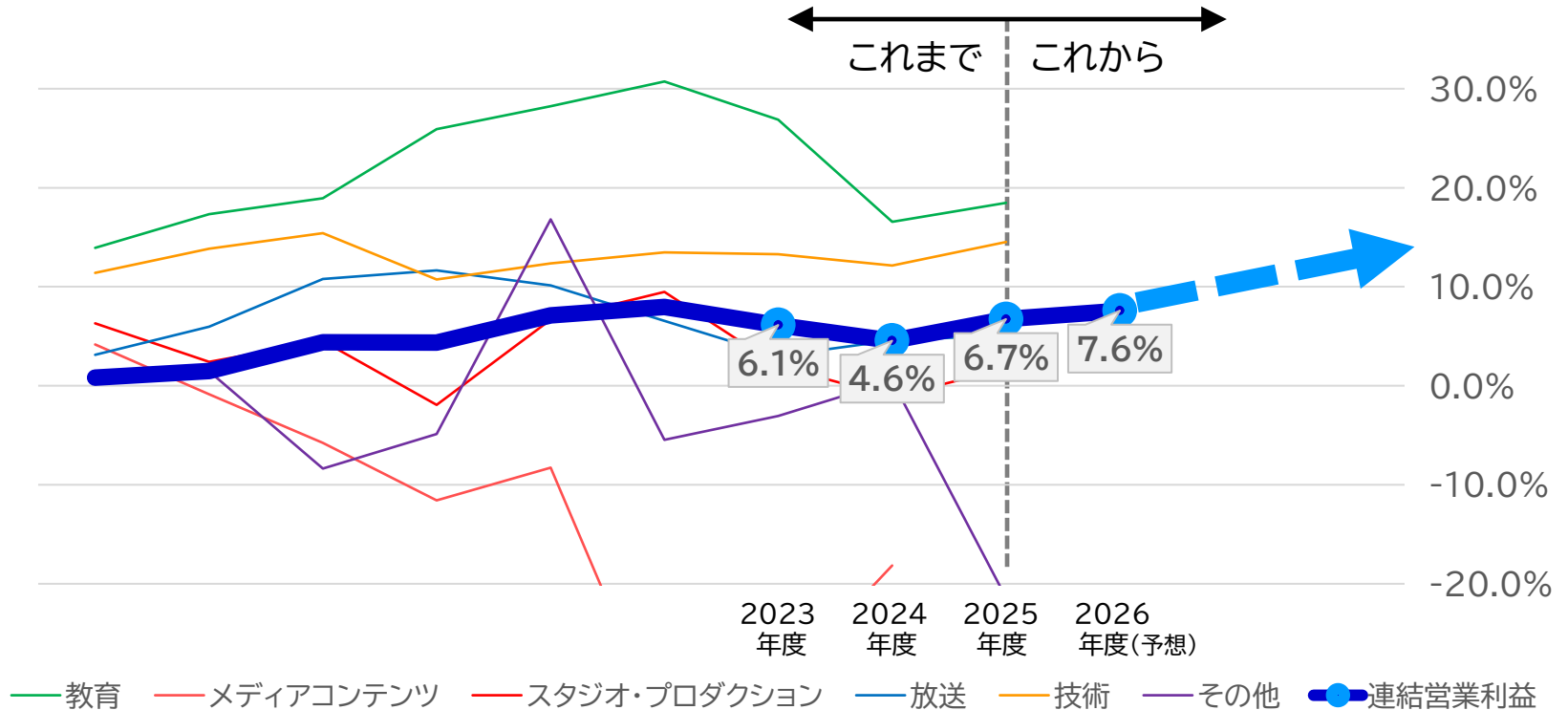


教育 × 技術 × AI

“さらなる拡大と高い利益率をめざす”
(営業利益率 10%、ROE 30%)

営業利益率の向上

セグメント別 営業利益率推移



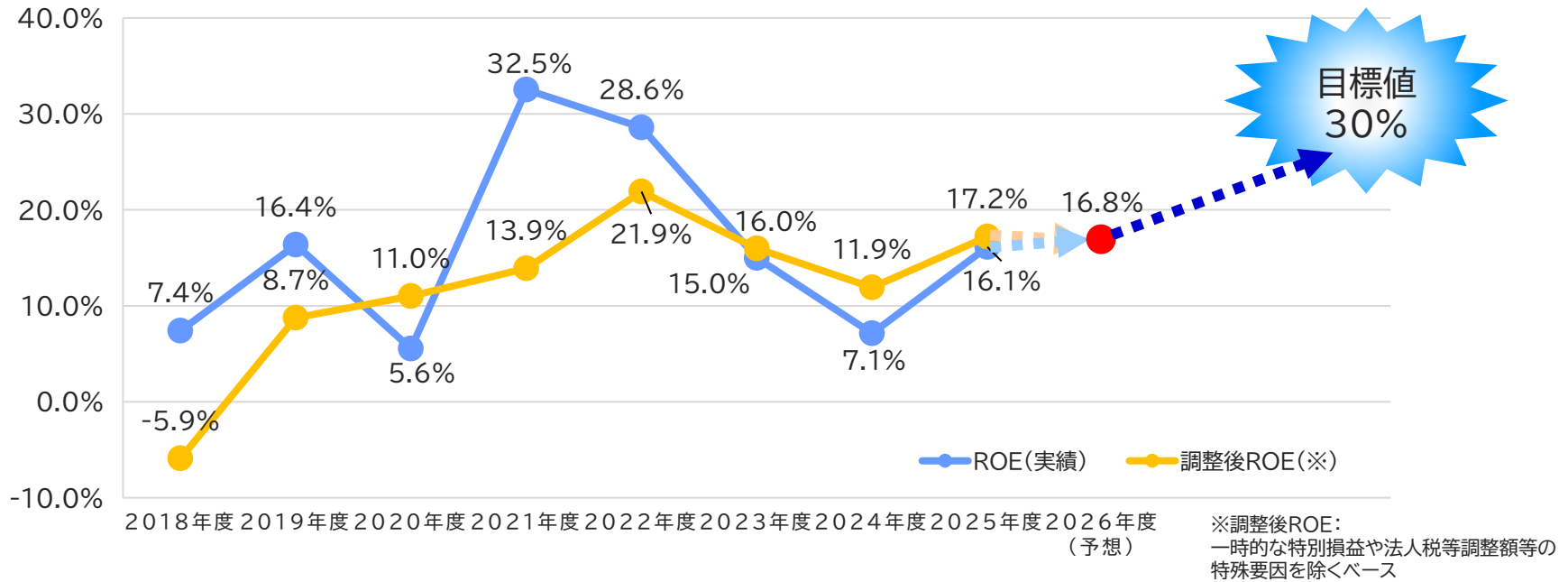
- ✓ 2025年度はdivxの黒字化やdivの損失縮小等により、営業利益率は前年比約2ポイント上昇
- ✓ 2026年度(予想)も「技術」の既存事業の成長やdivの黒字化等により収益性のさらなる向上に取り組む

引き続き連結営業利益率10%をめざす

ROE(自己資本利益率)の向上

“さらなる規模拡大と高い利益率をめざす”

ROEの推移



- ✓ 前期と比べ、当期のROEは上昇
- ✓ ROE向上に向けた取り組みを推進する
(業績の向上、自己株式の取得・消却、増配、事業の戦略的選択、等)



引き続きROE 30%をめざす

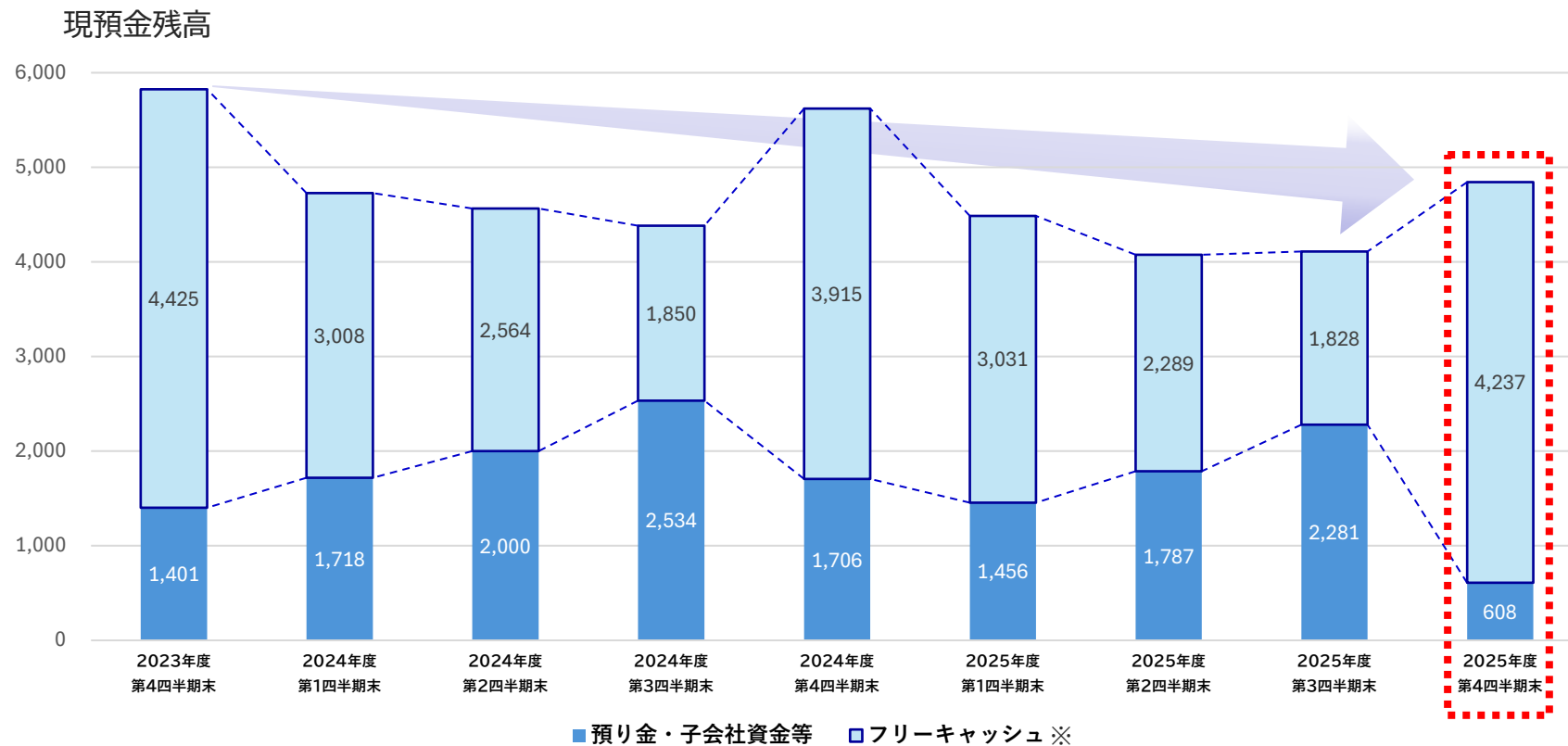
- ◆ 2025年度決算概要
- ◆ 2026年度業績予想
- ◆ 中期的な取り組み
- ◆ **株主還元**
- ◆ トピックス

【ご参考】

事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み

キャピタル・アロケーション(フリーキャッシュの推移)



- ✓ 事業投資や株主還元等によりグループ全体の現預金は減少傾向
- ✓ 一方で、釣りビジョン社株式の譲渡により、用途が制約されていた「預り金・子会社資金等」は大きく減少し、フリーキャッシュの比率が大幅増加
- ✓ 今後も、創出したフリーキャッシュを成長投資と株主還元に積極的に配分し、持続的な企業価値および資本効率の向上を図る

※フリーキャッシュ:成長投資、株主還元、経常投資、事業運転資金として活用できる資金

株主還元: 配当

- ✓ 2025年度は期首の予想(50円)から上方修正し、1株当たり60円(連結配当性向:54.7%)の期末配当を予定
- ✓ 次期配当は1株当たり65円(連結配当性向:52.1%)を予想

	年間配当 (1株当たり)	配当総額	連結配当性向
2021年度 (実績)	25円00銭	184百万円	18.8%
2022年度 (実績)	30円00銭	218百万円	19.9%
2023年度 (実績)	33円00銭	240百万円	35.3%
2024年度 (実績)	50円00銭	356百万円	106.7%
2025年度 (予定)	60円00銭	427百万円	54.7%
2026年度 (予想)	65円00銭	463百万円	52.1%

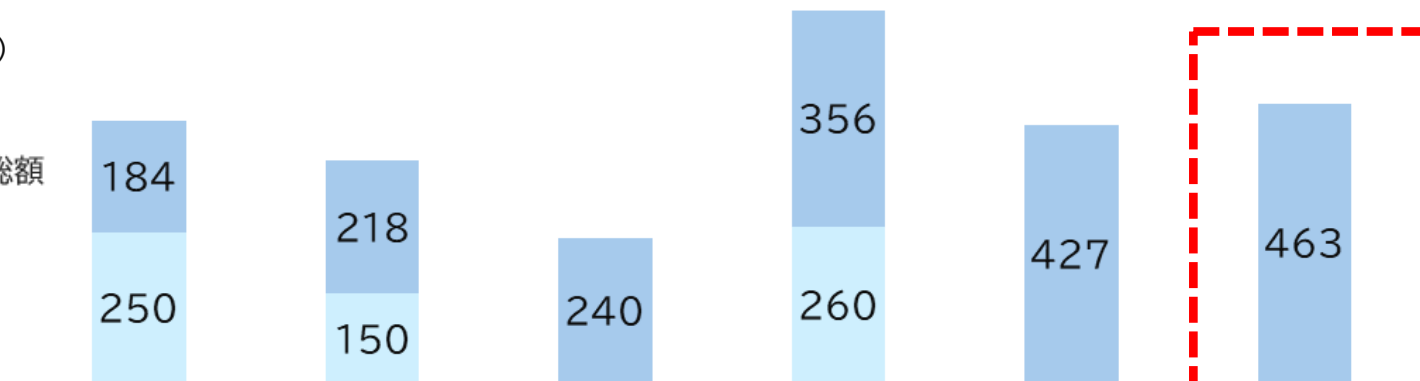
株主還元方針



株主還元方針	総還元性向	50%を目安
	配当	連結配当性向30%~50%

(単位:百万円)

- 配当総額
- 自己株取得総額



	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予定	2026年度予想
1株当たり年間配当金	25円	30円	33円	50円	60円	65円
配当総額	184百万円	218百万円	240百万円	356百万円	427百万円	463百万円
連結配当性向	18.8%	19.9%	35.3%	106.7%	54.7%	52.1%
自己株取得総額	250百万円	150百万円	—	260百万円	—	未定
連結総還元性向	42.9%	33.2%	35.3%	183.8%	54.7%	52.1%
株主資本配当率	5.3%	5.1%	5.0%	7.7%	8.5%	8.4%

注1) 自己株取得総額は百万円未満四捨五入

注2) 2023年度、2025年度は自己株式の取得の実施無し

株主還元



今期は、釣りビジョン社株式の譲渡等によりフリーキャッシュが増加したことから総還元性向の目安である50%を超える54.7%となる期末配当金60円を予定

次期も業績予想から総還元性向52.1%となる期末配当金65円(5円増配)を予想。また、期中の財務状況とインサイダー取引規制や流動性等を総合的に配慮しつつ、自己株式の取得等の追加的な株主還元も検討してまいります

引き続き、成長のために必要な投資との
バランスを考慮しつつ
株主還元を実施してまいります

- ◆ 2025年度決算概要
- ◆ 2026年度業績予想
- ◆ 中期的な取り組み
- ◆ 株主還元
- ◆ **トピックス**

【ご参考】

事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み



ルネサンス高校グループ

2006年にルネサンス高校(大子)を開校、
20周年を迎えました



20周年記念特設サイト公開／アニバーサリープロジェクト始動

RENAISSANCE HIGH SCHOOL GROUP
20th ANNIVERSARY

自分のペースで歩いて
ちゃんとゴールできた。
そんな20年分の
「卒業」がここにある。



ANNIVERSARY PROJECT

第1弾: 卒業生20年分の証言集



<https://www.r-ac.jp/20th/>

多様な生徒たち一人ひとりの学びに寄り添い、
これまでに3万名以上の卒業生を輩出

これからも柔軟な学校のあり方を追求してまいります

「名古屋栄」と「博多」の2キャンパスでも 新たに「通学スタンダードコース」を開講



ネット学習の利便性とキャンパス通学の楽しさを掛け合わせた
都市型の新しい高校生活を提案

生徒の多様な価値観を尊重する社会の中で
積極的な選択肢へと進化していく

徳島駅前「ルネ中等部」徳島校を開設


ルネ中等部
徳島校
2026年4月
開設!



eスポーツやプログラミングをはじめ、
地域の特性を活かした体験プログラムなども用意

地域の子どもたちに「新しい学びの場」を提供

 **TECH CAMP** AI活用支援サービス

愛知県の中小企業デジタル化実践人材育成事業に採択
「愛知県 AI活用人材育成プログラム」を開講



×



参加者が生成AIを活用して自社の業務課題を解決する
「自動化ツール」を実際に作成
現場で運用するプロセスを完遂させる「実践型プログラム」

不足しがちなデジタル人材の育成を支援

※ 本プログラムは、愛知県の「中小企業デジタル化実践人材育成事業」として、株式会社divが受託し運営いたします。

DIVX、AIを活用した提供サービスを拡充

S³(エス・キューブ)

診断・修正・継続監視を一本化した
セキュリティサブスクリプション



年1回診断の“点検型”から、
常時監視の“状態維持型”へ

AI-CMS

Webコンテンツ制作に伴う「判断・生成・実装」を
AIエージェントが一気通貫で支える運用基盤



人間は「最終判断(承認)」のみを担い、
調整時間を大幅に削減することが可能

現場担当者が抱える課題を解決するサービスを開発
「開発会社」の枠を超え、顧客の「パートナー」をめざす

ご清聴ありがとうございました



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

- ◆ 2025年度決算概要
- ◆ 2026年度業績予想
- ◆ 中期的な取り組み
- ◆ 株主還元
- ◆ トピックス

【ご参考】

事業セグメントの内容

サステナビリティ(人的資本)への取り組み

事業セグメントの内容



セグメント	事業内容	主な業務内容
教育	通信制高校	・イーラーニングシステムを利用した広域通信制高校「ルネサンス高等学校グループ」(「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」)の運営
	日本語教育	・日本語教師(登録日本語教員)養成講座・外国人向け日本語研修を提供する「ルネサンス日本語学院」の運営
	AI・プログラミング教育	・プログラミングスクール「テックキャンプ」「テックキャンプ高等学院」等の運営 ・IT業界特化型転職支援サービス「divエージェント」等の運営
スタジオ・プロダクション	制作事業	・日本語字幕・吹替、聴覚障がい者向け字幕、視覚障がい者向け音声解説、番組宣伝等の制作
放送 (注)	釣り専門チャンネル	・衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 ・映像の受託制作
	釣りビジョンVOD	・「釣りビジョン倶楽部」の運営 ・動画コンテンツ提供事業者向けの釣りコンテンツの提供
技術	アカマイサービス	・「WAFサービス」等のサイバーセキュリティサービスの提供 ・コンテンツを最適な形で配信する「CDNサービス」の提供
	クラウドソリューション	・通信事業者・IPTV事業者・CG制作会社等へのクラウドゲーム配信技術の提供 ・3DCG配信サービス「G-cluster XR」の提供
	デジタルシネマサービス	・配給会社へブロードメディア®CDN for theater(DCP配信サービス)の提供 ・映画館へ上映システムの設計、販売、レンタル及びメンテナンスサービスの提供
	ホスピタリティ・ネットワーク	・ホテルの客室・会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供
	DX・システム開発	・設計からソフトウェア開発、保守運用までワンストップのシステム開発の提供 ・AI技術を活用したソフトウェア開発およびソリューションの提供
	その他ソリューションサービス	・グローバルに展開されたプライベートネットワーク「Aryaka」等の提供 ・画像解析技術を駆使した小売業向け次世代型AIソリューション「Vue.ai」の提供 ・CM素材をオンラインで搬入する「CMオンラインサービス」の提供
その他	eスポーツ推進事業	・プロeスポーツチーム「CAG OSAKA」の運営 ・eスポーツ関連イベントの企画・運営
	ゲームパブリッシング事業	・Nintendo Switch向けのゲームソフトやVR専用ソフト等の企画・開発・販売及び配信

(注)2026年3月31日付で株式会社釣りビジョンを株式譲渡したことに伴い、「放送」セグメントは2025年度をもって終了いたします。

(2026年3月31日現在)

事業セグメント別の連結経営成績



収益種別毎の売上高

上段:売上高(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

下段:構成比率

	合 計	ストック/フロー別の 収益内訳		独自商品/それ以外の 収益内訳	
		ストック	フロー	独自商品	独自商品以外
教 育	5,457	4,455 82%	1,002 18%	5,415 99%	42 1%
ス タ ジ オ ・ プ ロ ダ ク シ ョ ン	1,610	— —	1,610 100%	1,610 100%	— —
放 送	2,243	1,837 82%	406 18%	2,243 100%	— —
技 術	6,242	5,565 89%	676 11%	1,486 24%	4,756 76%
そ の 他	239	0 0%	239 100%	239 100%	— —
合 計	15,794	11,859 75%	3,934 25%	10,995 70%	4,798 30%

- ✓ 教育、放送は独自商品による継続性の高いストック収益が中心
- ✓ 技術は独自商品以外によるストック収益が中心
- ✓ スタジオ・プロダクション、その他は独自商品による短期の変動が大きいフロー収益が中心

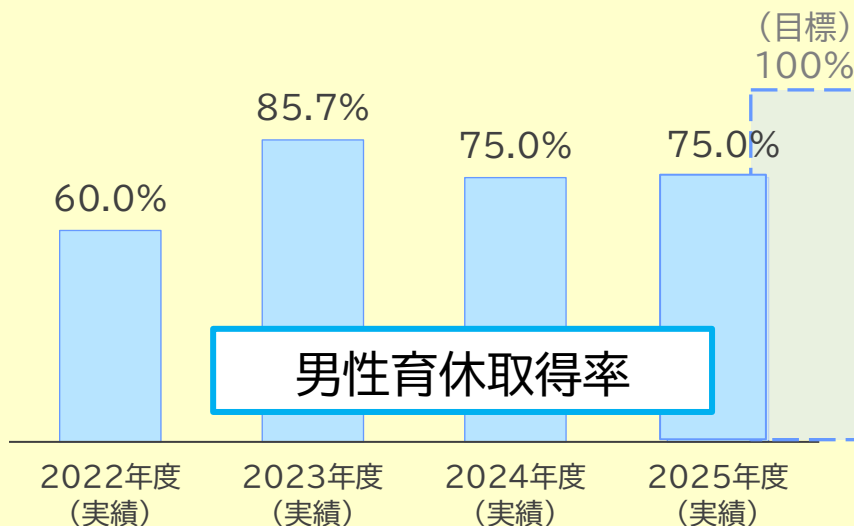
サステナビリティ(人的資本)への取り組み



2025年度

育児休暇取得率

女性従業員は100%、男性従業員は**75.0%**

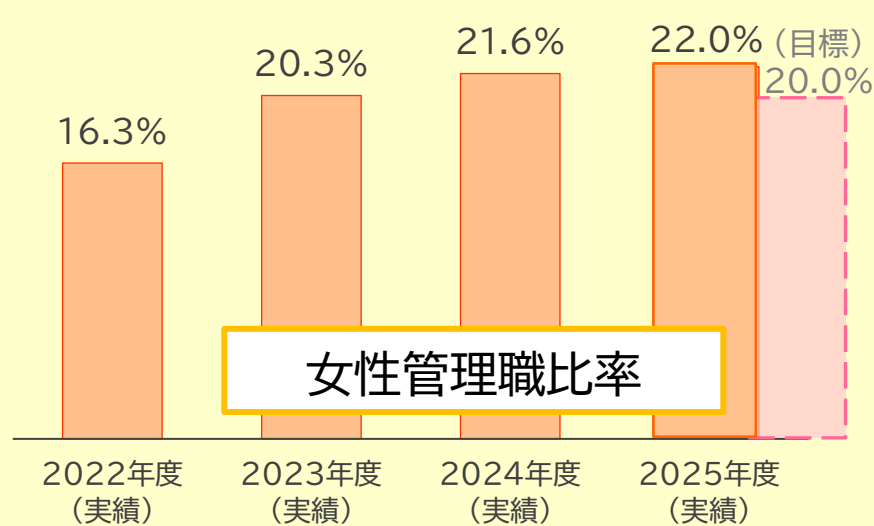


男性育休取得率

2025年度

女性管理職比率

22.0%



女性管理職比率

実績及び目標はいずれも当社単体

※2025年度の目標は、2023年7月に策定した「ブロードメディア株式会社行動計画」に基づく目標です

すべての従業員が高いモチベーションをもって働ける
環境や仕組みの整備・運用を進める

キャピタル・アロケーションの方針

財務健全性を維持しつつ、創出したキャッシュフローを成長投資と株主還元に分け、資本効率を向上させる

キャッシュイン

資金調達余力

営業CF
+
手元現預金

うち
子会社資金
預り金
借入返済等

キャッシュアウト

成長投資

- ・M&A・出資
- ・設備投資
- ・人員増強／育成

株主還元

- ・自己株式取得
- ・配当

経常投資

- ・既存事業投資

事業
運転資金

- ・事業運転資金
- ・手元流動性の確保

子会社資金
預り金
借入返済等

- ・子会社事業運転資金
- ・預り金
- ・有利子負債の返済

フリー
キャッシュ

成長投資の方針

- 成長投資
 - ・新規事業の創出・拡大
 - ・業務提携やM&Aの検討
 - ・事業の成長に伴う設備
 - ・人員増強

株主還元の方針

- 配当
 - ・配当の安定性と継続性を重視
- 自己株式取得
 - ・市場動向や財務状況を勘案の上、機動的に実施

“さらなる規模拡大と高い利益率をめざす”

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

<https://www.broadmedia.co.jp/>



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。